



## 第3回校内研修会を終えて

6月23日（水）に第3回校内研修会が開かれました。今回の研修会では、松田奈津美先生の国語の授業参観、全体会では、研究授業を参観して自分自身の授業で活用できると思った点や、ミライシードの活用方法について意見交流を行いました。



### 1. 松田先生の授業 ～Jamboard&Googleformの活用～

単元の課題	題材で想像できることから、情景を考えよう
本時のねらい	題材で想像できることから情景を考え、わかりやすく書き表す。 【思考・判断・表現 B書くこと(1)ウ】
研究主題との関連	視点③ 集団の学びを一人一人に返し、学びを実感できる工夫（学びの自覚化） いろんなイメージに触れ自分の考えが深められたかをふり返る時間を設定する。
ICT活用の利点	Jamboardを使用することで・・・ ★発言が苦手な生徒も、意見を出しやすい！ ★多人数で意見を共有することができる！ Googleformを使用することで・・・ ★学級全員の考えを瞬時に集計し全体共有できる！

#### 今回の国語科の研究授業で実践されていたこと

- ①Jamboardを活用し、題材のイメージを自分なりに考え意欲的に書き込んでいた。
- ②座席表を色分けしたものをテレビに映したり、黒板に手順を明記したりすることで、生徒たち自身が今何をやる時間なのかということを理解していた。



- ③Jamboardを活用する中で、ただ付箋に考えを打ち込んでいくだけでなく、余った時間で付箋の内容をグルーピングするなど、生徒の力で整理することができていた。
- ④Chromebookとテレビを活用したり机間支援をしたりする中で、生徒の様子を把握し活動時間を変更するなどのタイムマネジメントを行っていた。

- ⑤50分という限られた時間の中で、考えやふり返りの共有を素早く行っていた。

## 2. **全体会** ミライシードの活用方法

様々な機能があるミライシード。今回は“ムーブノート”の使い方を、大和先生から伝授していただきました。生徒役として参加することで、今後生徒相手に活用する際のイメージをもてる良い機会となりました。

### (1) スタンプ機能を活用した集計

生徒が見つけたスタンプを集計して1つの資料にまとめられる（今回は日本地図）。

### (2) テキスト分析を活用した集計

カードに自由記述したものをテキスト分析を行うと、複数人が書いた文言がピックアップされキーワードとして共有することができる。

### (3) ラジオボタン式集計

事前に用意された選択肢から選び、それを集計することで選択人数を把握できる。

—— (2) で共有した**今日の授業参観で得た、自分の教科で活用できそうなこと** ——

- 共通した画像を見てイメージを交流すること
- 実験の予想や考察（単元末の応用問題について個人の予想を共有できる）
- テーマごとやグループごとに意見を出し合い、その意見を全体で交流すること
- Jamboard で、グループによって付箋を色分けして可視化すること
- Jamboard を使用する際、生徒の操作制限のための「閲覧のみ」機能
- Googleform を活用し、ふり返りを共有すること



### 教頭先生からのアドバイス

#### 1. 指導案について

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料を活用しながら、単元目標や単元計画を設定しねらい達成のための授業づくりをする。また、生徒自身の粘り強く学習に取り組む姿勢や自己調整の力を育てるような単元計画を心がける。

#### 2. 不易と流行

Chromebook の利点を最大限に生かして、生徒の学びにつながるように利活用していく必要がある。活動や成果物1つ1つにどのような意味があるのかを全ての生徒が理解するのが難しいため、教師が生徒の学びを着実に見取り、価値つけて励ますことで生徒の意欲につなげていく。

## 3. 今後に向けて

『学校訪問 NAVI』に書かれている「ポイント3点」や「指導案作成 NAVI」の二重線部分を参考に指導案を作成してください。また評価基準を明記し、学びの変容が残るような授業づくりを心がけましょう。計画訪問も近いので根上中職員一丸となって頑張りましょう！